

# SEMINAR HOUSE NEWS

## セミナー・ハウス

No.169  
2005年9月発行

- ◆巻頭言.....中嶋嶺雄 2
- ◆新棟起工式 ～新研修宿泊棟の建設始まる～ .....2～3
- ◆法人ニュース .....4～5
  - ◇ 常務理事会・理事会・評議員会開催の報告
- ◆千人会通信 .....6～7
- ◆主催セミナー報告.....8～11
  - ◇ 四季の植物誌：春・夏
  - ◇ 炭焼きセミナー
  - ◇ 第12回職員セミナー
  - ◇ 平成17年度主催セミナー開催案内
  - ◇ 第43回大学教員セミナー（速報）
- ◆平成16年度宿泊業務白書 .....12
- ◆ご利用状況 .....13～14
- ◆キャンパス・レポート「大東建託(株)合宿研修」 .....15
- ◆開館40周年記念募金 .....16
  - ◇ 募金第8回報告
  - ◇ 館長室から



第2回 四季の植物誌セミナー <探検しようよ、夏の森！> 2005.8.7



Plain living and high thinking

財団法人 大学セミナー・ハウス  
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE, INC.  
〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1  
TEL：0426-76-8511 FAX：0426-76-1220  
<http://www.seminarhouse.or.jp>

# 大学セミナー・ハウスの新しい一歩

財団法人 大学セミナー・ハウス  
理事長 中嶋 嶺雄



真夏の一日ですが、多摩丘陵の一角を占める緑豊かな当ハウスの丘には、蟬時雨が真盛りで耳を突き差すほどです。しかし、足元には萩が可憐なピンクの花をつけはじめ、早くも秋の気分を感じさせてくれています。

本日（八月二十四日）は、当セミナー・ハウスの懸案の事業計画であった新宿泊棟の新築工事地鎮祭が、当ハウスの役員と設計・施工担当者代表の方々の出席を得て行われ、来春の竣工を目指すことになりました。

永く皆様に親しまれ、当ハウスの名物であったユニット・ハウスはすでに老朽化が著しく、ここに新しくIT化時代のインテリジェント機能をもつ百三十名収容の宿泊施設が出来ることとなりました。ユニット・ハウスの一部は記念建築として末永く保存使用されます。こうして当ハウスは、去る四月二十三日の開館四十周年記念式典と同時に正式にオープンした留学生会館とともに、新しい時代にふさわしい施設をもつことになりました。

大学生の生活様式やライフ・スタイルの変化によって当ハウスの経営にも様々な困難がありますが、大学教職員や社会人の利

用の促進とともに、より一層充実したサービスを今後も提供致しますので、皆様のご活用を改めてお願い申し上げます。

当ハウスは、このように時代の変化に対応すべく努力しておりますが、一方では、「思想は高潔に生活は簡素に」という当ハウスの創建の理念を忘れることなく、あくまでも大学セミナー・ハウスらしい研修の場であり続けたいと念願しております。今日のような変化の激しい時代にこそ、当ハウスのような存在が貴重でもありますので、国・公・私立の壁を越えた高等教育の接点として、また、人と人との出会いの空間としてのハウスを、周囲の美しい自然環境とともに、大切にしたいと考えております。皆様様の変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様様のご支援を賜った大学セミナー・ハウス開館四〇周年記念募金（留学生会館建設のための募金）は、お蔭様で実質目標額の四千万円を超え、去る六月三十日をもって、終了致しましたことをここに謹んでご報告申し上げます。

本当に有難うございました。

二〇〇五年八月二十四日  
（国際教養大学学長）

## 新棟起工式

～新研修宿泊棟の建設始まる～

2005年8月24日、新棟の起工式が行われました。ハウス側からは、中嶋嶺雄理事長、宇野重昭常務理事、鈴木康司常務理事、佐藤東洋士常務理事、光田明正常務理事、三宅彰評議員会議長、本江哲郎専務理事、管理職4名および設計・施工業者代表の方々が列席し、地鎮の儀、玉串奉奠などを滞りなく終えました。

新棟は31室（130名収容）を有する地上3階建てで、竣工は2006年3月下旬の予定です。

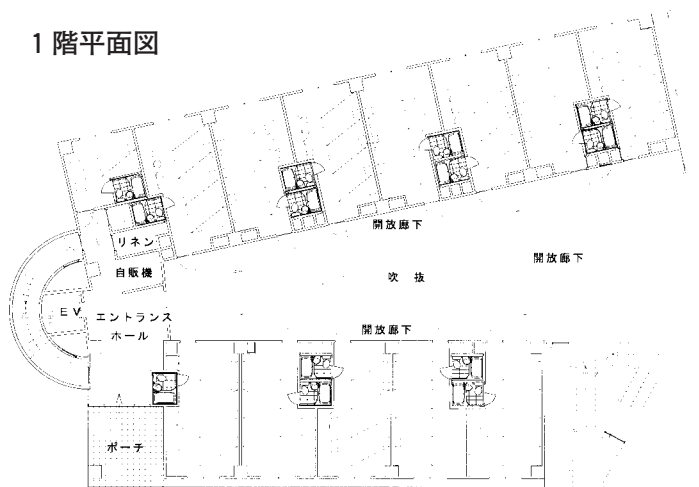


地鎮祭において鍬を入れる中嶋嶺雄理事長

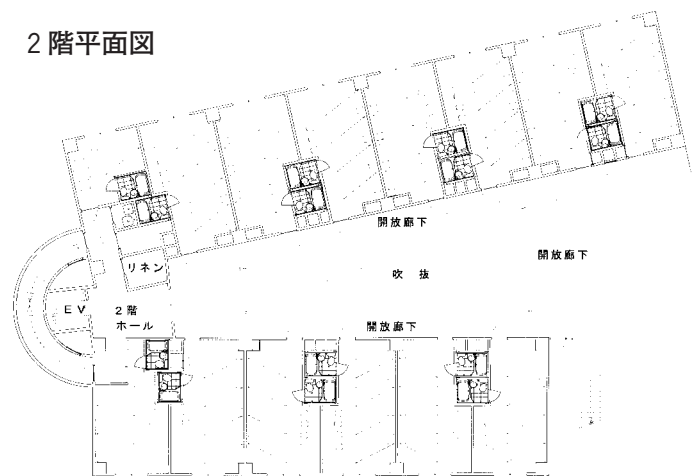


完成予想図

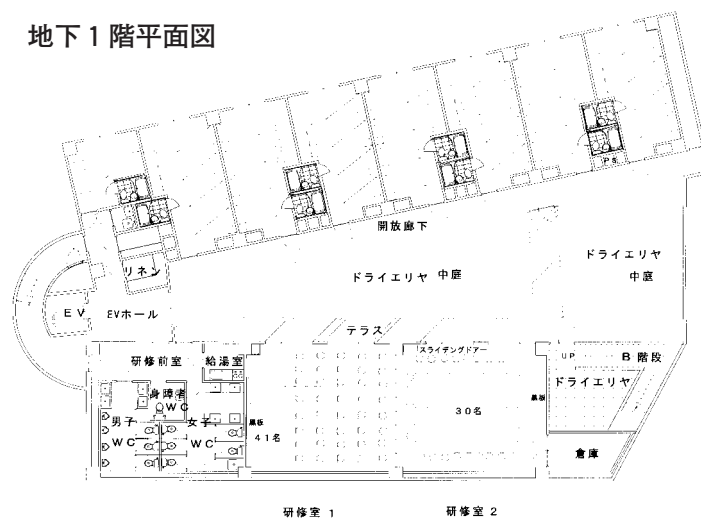
1階平面図



2階平面図



地下1階平面図



研修室 1

研修室 2

第108回理事会・第87回評議員会

平成17年3月7日(月)

アイビーホール青学会館

【出席者】(理事)中嶋嶺雄(理事長)、荻上紘一(館長)、本江哲郎(専務理事)、宇野重昭、北原保雄、後藤祥子(評議員)三宅 彰(議長)、福田一郎、篠田節子、松本浩之

平成17年度事業計画・収支予算を中心に審議が行われ、いずれも原案通り承認された。主な報告・協議は次の通りである。

▼募金活動について

2月28日現在の募金総額は三一、九二一、四五三円(個人一五、六一一、四〇〇円、団体一六、三〇〇、〇五三円)である。

▼理事、監事、評議員の選任について 次の通り、理事・監事・評議員が選任された。

(理事)

杉山武彦 一橋大学学長  
光田明正 長崎外国語大学学長(常務理事)

(監事)

飯野正子 津田塾大学学長

(評議員)

石川和昭 八王子市教育委員会教育長  
原島文雄 東京電機大学学長  
鈴木了二 早稲田大学芸術学校校長

中村英夫 武蔵工業大学学長

若江正三 創価大学学長

▼協力会員の入会について

創価大学(学長・若江正三、東京都八王子市丹木町1-236)の協力会員校加入が承認された。

▼平成17年度事業計画(案)及び一般会計収支予算書(案)・特別会計(記念募金)収支予算書(案)について 原案通り承認された。収支予算については、別表1を参照。

▼その他

荻上館長から本日開催の平成17年度第1回常務理事会で審議された新宿泊研修棟建設構想についての説明が行われた。次回の理事会までに実現の可能性を模索することで承認された。

第109回理事会・第88回評議員会

平成17年5月14日(土)

如水会館

【出席者】(理事)中嶋嶺雄(理事長)、荻上紘一(館長)、本江哲郎(専務理事)、宇野重昭、佐藤 保、佐藤東洋士、鈴木康司、後藤祥子、西原 正(評議員)三宅 彰(議長)、井早康正、福田一郎、松本浩之

平成16年度事業報告・収支決算を中心に審議が行われ、いずれも原案通り承認された。主な報告・協議は次の通りである。

〈別表1〉平成17年度収支予算書 総括表

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

科目	合計	一般会計	特別会計
<b>I 収入の部</b>			
基本財産利息収入	1,500	1,500	
会費収入	58,000,000	58,000,000	
一般事業収入	83,443,000	83,443,000	
食堂事業収入	53,369,000	53,369,000	
留学生会館収入	12,150,000	12,150,000	
セミナー会費収入	6,380,000	6,380,000	
補助金等収入	0	0	
寄付金収入	4,570,000	1,570,000	3,000,000
雑収入	4,141,500	4,141,500	
借入金収入	12,500,000	12,500,000	
減価償却積立金取崩収入	0	0	
特別会計繰入金収入	1,000,000	1,000,000	
当期収入合計	235,555,000	232,555,000	3,000,000
前期繰越収支差額	-6,776,000	-8,466,000	16,900,000
収入合計	228,779,000	224,089,000	4,690,000
<b>II 支出の部</b>			
管理費	65,747,000	65,647,000	100,000
人件費	34,848,000	34,848,000	
施設管理費	23,795,000	23,795,000	
一般管理費	7,104,000	7,004,000	100,000
一般事業費	97,029,000	97,029,000	0
人件費	36,982,000	36,982,000	
一般事業費	54,097,000	54,097,000	
大学学生セミナー事業費	1,190,000	1,190,000	
大学教職員セミナー事業費	3,560,000	3,560,000	
その他のセミナー事業費	1,200,000	1,200,000	
食堂事業費	56,130,000	56,130,000	0
食堂事業直接費	21,425,000	21,425,000	
人件費	26,167,000	26,167,000	
食堂事業間接費	8,538,000	8,538,000	
固定資産取得支出	16,062,000	16,062,000	0
借入金返済支出	2,500,000	2,500,000	
特定預金支出	3,000,000	3,000,000	
繰入金支出	1,000,000	0	1,000,000
予備費	2,050,000	2,000,000	50,000
当期支出合計	243,518,000	242,368,000	1,150,000
当期収支差額	-7,963,000	-9,813,000	1,850,000
次期繰越収支差額	-14,739,000	-18,279,000	3,540,000

〈別表2〉平成16年度収支決算書 総括表

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

科目	合計	一般会計	特別会計
<b>I 収入の部</b>			
基本財産利息収入	1,966	1,966	
会費収入	58,350,000	58,350,000	
事業収入	157,952,730	157,952,730	
セミナー会費収入	5,744,114	5,744,114	
補助金等収入	33,158,000	33,158,000	
寄付金収入	8,401,446	1,947,000	6,454,446
雑収入	5,105,633	5,101,512	4,121
減価償却積立金取崩収入	54,000,000	54,000,000	
施設改善引当預金取崩収入	20,000,000		20,000,000
特別会計繰入金収入	30,000,000	30,000,000	
当期収入合計	372,713,889	346,255,322	26,458,567
前期繰越収支差額	36,720,849	29,949,636	6,771,213
収入合計	409,434,738	376,204,958	33,229,780
<b>II 支出の部</b>			
管理費	28,472,456	28,472,456	0
人件費	22,120,540	22,120,540	0
施設管理費	5,491,861	5,480,321	11,540
一般管理費			
事業費	33,719,012	33,719,012	0
人件費	55,911,959	55,911,959	0
一般事業費	611,677	611,677	0
大学学生セミナー事業費	4,090,718	4,090,718	0
大学教職員セミナー事業費	492,869	492,869	0
その他セミナー事業費			
食堂事業費	23,746,262	23,746,262	0
食堂事業直接費	27,567,548	27,567,548	0
人件費	5,789,442	5,789,442	0
食堂事業間接費	130,122,862	130,122,862	0
固定資産取得支出	5,000,000	5,000,000	0
特定預金支出	30,000,000	0	30,000,000
その他の支出	0	0	0
予備費			
当期支出合計	373,137,206	343,125,666	30,011,540
当期収支差額	-423,317	3,129,656	-3,552,973
次期繰越収支差額	36,297,532	33,079,292	3,218,240



▼募金活動について

4月30日現在の募金総額は三四、九六一、四五三円（個人一七、六五六、四〇〇円、団体一七、三〇五、〇五三円）である。

▼理事・評議員及び監事の選任について  
〈理事〉

小宮山 宏 東京大学総長  
平林 千牧 法政大学総長

〈監事〉

小畑 秀文 東京農工大学学長

〈評議員〉

石澤 良昭 上智大学学長  
古在 豊樹 千葉大学学長  
郷 通子 お茶の水女子大学学長  
平田 賢 芝浦工業大学学長

▼平成16年度事業報告書及び一般会計決算書（案）・特別会計（記念募金）決算（案）について  
原案通り承認された。決算については、別表2を参照。

▼その他

平成17年5月14日開催の常務理事会での審議の報告があった。

（1）新宿泊棟建設構想について

3案を比較検討した結果、設計思想、建設経費、坪単価、収容人員、工事期間などにおいて有意の差が認められ、大和ハウスからの提案を採択した。

（2）敷地造成計画について

敷地内の谷間に土砂受入れ、敷地の

有効利用を図ることになった。

第110回理事会・第89回評議員会

平成17年7月7日（木）  
如水会館

【出席者】〈理事〉中嶋嶺雄（理事長）、荻上紘一（館長）、本江哲郎（専務理事）

（事）、佐藤 保、佐藤東洋士、村上陽一郎、西原 正

〈評議員〉三宅 彰（議長）、福田一郎、鷲山恭彦

主な報告・協議は次の通りである。

▼募金活動について  
6月30日現在の募金総額（申込み分を含め）は四〇、二〇一、四五三円（個人一七、五四六、四〇〇円、団体二二、六五五、〇五三円）である。開館40周年記念募金は本年6月30日をもって終了する。

▼評議員の選任について  
学長交代に伴う新任は次の通り。

鮑戸 弘 東洋英和女学院大学学長

▼新棟建設計画（案）について  
審議の結果、承認された。なお、借入金及び担保に関する文部科学省の承認申請及び計画の具体化については理事長に一任された。

▼平成17年度一般会計及び特別会計補正収支予算（案）について（別表3参照）  
新棟建設に伴う補正予算について、審議の結果、承認された。

審議の結果、承認された。

〈別表3〉平成17年度補正後収支予算書 総括表  
（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

科 目	合 計	一般会計	特別会計
<b>I 収入の部</b>			
基本財産利息収入	1,500	1,500	
会費収入	58,000,000	58,000,000	
一般事業収入	83,443,000	83,443,000	
食堂事業収入	53,369,000	53,369,000	
留学生会館収入	12,150,000	12,150,000	
セミナー会費収入	6,380,000	6,380,000	
補助金等収入	0	0	
寄付金収入	6,870,000	1,570,000	5,300,000
雑収入	4,141,500	4,141,500	
借入金収入	412,500,000	412,500,000	
減価償却積立金取崩収入	3,000,000	3,000,000	
特別会計繰入金収入	8,300,000	8,300,000	
当期収入合計	648,155,000	642,855,000	5,300,000
前期繰越収支差額	36,297,532	33,079,292	3,218,240
収入合計	684,452,532	675,934,292	8,518,240
<b>II 支出の部</b>			
管理費	65,747,000	65,647,000	100,000
人件費	34,848,000	34,848,000	
施設管理費	23,795,000	23,795,000	
一般管理費	7,104,000	7,004,000	100,000
一般事業費	97,029,000	97,029,000	0
人件費	36,982,000	36,982,000	
一般事業費	54,097,000	54,097,000	
大学学生セミナー事業費	1,190,000	1,190,000	
大学教職員セミナー事業費	3,560,000	3,560,000	
その他のセミナー事業費	1,200,000	1,200,000	
食堂事業費	56,130,000	56,130,000	0
食堂事業直接費	21,425,000	21,425,000	
人件費	26,167,000	26,167,000	
食堂事業間接費	8,538,000	8,538,000	
固定資産取得支出	426,062,000	426,062,000	0
借入金返済支出	20,767,000	20,767,000	
特定預金支出	3,000,000	3,000,000	
繰入金支出	8,300,000	0	8,300,000
子備費	2,050,000	2,000,000	50,000
当期支出合計	679,085,000	670,635,000	8,450,000
当期収支差額	-30,930,000	-27,780,000	-3,150,000
次期繰越収支差額	5,367,532	5,299,292	68,240

平成16年度第4回常務理事会

平成17年3月7日（月）  
アイビーホール青学会館

【出席者】中嶋嶺雄（理事長）、荻上紘一（館長）、本江哲郎（専務理事）、宇野重昭、佐藤 保、鈴木康司

【主な議題】新宿泊棟建設構想について、他。

平成17年度第1回常務理事会  
平成17年5月14日（土）  
大学セミナーハウス

【出席者】中嶋嶺雄（理事長）、荻上紘一（館長）、本江哲郎（専務理事）、宇野重昭、鈴木康司

【主な議題】料金表の改定（案）について、新棟建設関係予算の執行計画について、借入に関する要領書について、利用状況について、予算執行状況について、主催セミナーについて、他。

（評議員会議長）

【主な議題】新研修泊棟建設構想について、敷地造成計画（案）について、他。

平成17年度第2回常務理事会  
平成17年8月24日（水）  
大学セミナーハウス

【出席者】中嶋嶺雄（理事長）、本江哲郎（専務理事）、宇野重昭、佐藤東洋士、鈴木康司、光田明正、三宅 彰

【主な議題】新研修泊棟建設構想について、敷地造成計画（案）について、他。

【主な議題】新研修泊棟建設構想について、敷地造成計画（案）について、他。

【主な議題】新研修泊棟建設構想について、敷地造成計画（案）について、他。

【主な議題】新研修泊棟建設構想について、敷地造成計画（案）について、他。

【主な議題】新研修泊棟建設構想について、敷地造成計画（案）について、他。

会費をありがとうございました

(2005年1月～8月 敬称略)

渡辺忠胤、中西 治、大澤恵美子、小倉充夫、中川秀恭、慶谷壽信、鈴木 皇、松山正男、大森東亜、田中昭、山田 暉、森久、小山弘志、武田昌輔、後藤敏明、竹林代嘉、平木典子、天野成光、鬼塚宏太郎、篠木昭夫、出光直樹、一番ヶ瀬康子、乾崇夫、佐藤音彦、岡崎正、中村正一、柳澤富雄、小野寺嘉孝、大頭 仁、茅野良男、高橋昭三、柳父圀近、新井 明、根岸愛子、池井 優、上谷琢之、堀 光男、北原文雄、北村嘉行、吉田光孝、手塚千鶴子、金子ハルオ、本谷 勲、海老沢信一、山口俊夫、風間邦光、板垣雄三、寺東寛治、井原恵治、松田安弘、栗原尚子、川崎正三、箕輪成男、福永壽巳夫、伊藤 學、森 昭彦、馬越徹、杉浦銀治、泉 敏彦、新保清子、佐藤光、藤井良治、笠 耐、磯 直道、志村尚子、木村建一、高橋静枝、中村妙子、前島郁雄、本田和子、中田良平、高松正昭、岩下秀男、寿里 茂、蓮見音彦、肥前栄一、島海保子、勝見允行、島田治夫、小原啓義、土井恵美子、島 美喜子、柴田泰比古、福田一郎、小幡史朗、坂本光一、高瀬文志郎、手塚喬介、柘植敏治、白川和雄、森山ヨシ子、尾田綾子、斎藤 眞、西川大二郎、池原義郎、佐藤玉枝、大滝裕子、松田信男、佐藤公孝、勝田有恒、鈴木三男吉、柳堀素雅子、室本誠二、絹川正吉、藤井弥太郎、川村龍俊、小菅敏夫、田中喜久昭、福西基、平野由紀子、山澤逸平、佐藤慶幸、奥

島孝康、林 肇、野澤 晨、海老根 宏、松澤通生、伊倉退蔵、大槻盛一、竹前文夫、水野弘文、伊藤意智郎、芳野越夫、村上健、橋口英俊、関口富左、下森 定、井上宇市、滝口俊子、犬塚 博、後藤捨男、柏原啓一、瀬戸岡 紘、富沢賢治、飯田修一、岡田英和、奥山典生、澤島侑子、児玉昭太郎、加藤晴久、金子六郎、天城 勲、芳賀徹、長谷川幸男、狩野紀昭、光延明洋、内田市五郎、荒井 基、麻生 幸、長谷川瑞穂、阿久津喜弘、西澤宗英、鈴木二郎、荒井 献、中嶋嶺雄、大村晴雄、椿 弘次、小林一彦、荒川有史、本明 寛、朝野洋一、福島 明、今堀和友、安宅光雄、古畑和孝、長岩 寛、小倉充夫、北野三之助、中村幸安、本江哲郎、大内 力、吉田幸弘、金子晃、中野スミ子、白井久和、大和政彦、慶谷伸代、黒田道雄、山代昌希、三橋文雄、合田周平、松尾秀雄、水谷眞智子、厚東偉介、村田 全、入江和生、松島 恵、山西貞、佐藤 進、小池 滋、金谷 憲、窪田富男、綿引二郎、川原啓美、中村浩三、橋本 智、見田宗介、有末 賢、小川信子、藤原鎮男、古本捷治、吉田美穂子、小池生夫、三宅 彰、宮本瑞夫、原 誠、米村貞蔵、新井勝紘、荒川由美子、柴田 誠、中山光雄、仙田 哲、太幡祐己、村瀬貞規、稲田 拓、原島幸太郎、松尾浩也、伊藤一郎、志賀 英、山本 茂、栗原 裕、長浜洋一、鈴木成文、八田昭雄、佐藤東洋士、荻原洋太郎、築田長世、山本武彦、大滝祐子、八幡義博、村田光二、國岡昭夫、徳田保雄、宮野三郎、鈴木一道、伊藤清子、岡村文子、藤田淑子、柏木恵子、田中弥寿雄

会員からのメッセージ

◇何とぞよろしくお願い申し上げます。  
渡辺忠胤

◇前略。B会費を送金申し上げますので、お受け取り下さい。不悉。 慶谷壽信

◇本年も宜しく願います。寒の時代においてセミナー・ハウスも大変だと想像します。しかし、今こそその本領を発揮して欲しいと念願しております。 松山正男

◇小額ですが、送金させていただきます。今年もまた4月に伺います。恵まれた自然の中で学生と共に過す2泊3日はとても貴重です。 明治大学 森 久

◇遅れましたが、ささやかな千人会C1口お送り申し上げます。 岡崎 正

◇ご無沙汰しております。セミナーの御案内をお送りいただき、ありがとうございます。また美しいポストカードをありがとうございます。残念ながら2005年1月のセミナーは参加できませんが、機会をつくってセミナー・ハウスにうかがいたいと思います。宜しく願います。 中村正一

◇誕生日のお祝いをいただいて、有難うございます。今年で丁度80歳となりました。元気で過しております。ささやかですが、大学セミナー・ハウスのご発展をお祈りして、会費をお送りします。 根岸愛子

◇飯田先生が三井銀行の一室で大学セミナー・ハウスの設立事務に没頭しておられたお姿を思い出します。あれから何年になりましたか？先生のご冥福とセミナー・ハウスの充実発展をお祈り申し上げます。 上谷琢之

◇卵茸とは本当に珍しい茸ですね。卵の大学生がセミナー・ハウスで切磋琢磨して育つていくことを期待しております。 北原文雄

◇山梨学院大学も来年6月に60周年を迎えます。これまでお世話になった上野ゼミ、布川ゼミ、小山ゼミ等のOBたちも、今は皆立派な社会人です。 海老沢信一

◇天災、人災のない一年を切に願います。学徒出陣の悪夢が再来しないよう若い研究者の全力発揮を期待します。小生、体調不良ながら71歳の春を迎えました。森 昭彦

◇実家の親の介護のためしばらく留守をしており、遅くなりました。宜しく願い申し上げます。ニュースは楽しみにしております。 新保清子

◇お葉書有難うございました。 島海保子

◇日本も外国も若者が希望の持てる社会となりますようお祈りいたします。そのため貴法人が用いられますように！ 島田治夫

◇子どもたちの考える力を培う。農山村にもふえてきた心のやまいの人々。行政とは違った目で人間を見る必要(研究)がますます増えてきています。 小幡史朗

◇本年度の学会(仙台)出張を利用して西田幾太郎記念館(宇ノ木町)の見学を予定しています。 白川和雄

◇国立音大イリス合唱団が2月にお世話に

なりました。演奏会は大成功で終了いたしました。

◇芽が出ましたらぜひ伺います。どうぞよろしく。  
佐藤公孝  
鈴木三男吉

◇定年退職後の一年間は、次の道を考えることにあてました。それまでの研究分野とは全く関係のない世界を、豊かな人生を送るために決めました。それは内緒です。

◇ご発展を祈ります。  
室本誠二  
福西 基

◇Seminar Houseのいよいよのご発展を祈ります。  
伊倉退蔵

◇いつもニュース、ありがとうございます。また、誕生メッセージ恐縮です。橋口英俊  
◇定年退職をしまして、第二の人生も一年が経ちました。結構忙しく日々を送っております。  
犬塚 博

◇今年も健康に誕生日を迎えられました。わずかですが、会費を送らせていただきます。八王子セミナー・ハウスの若葉の森を  
想いおこしております。  
澤島侑子

◇千人会費をお送りします。娘がやっと結婚しました。初孫の面影重ねん、武者人形  
兎玉昭太郎

◇C会費をお送ります。八王子まで出かける元気がないですが、幸い健康に過ごしています。  
内田市五郎

◇いつも誕生日を覚えてくださりカードその他をお送り下さり、有難うございます。留学生の方々のためのハウスも出来上がり、うれしく思いました。  
荒井 基  
◇お誕生日カード有難うございました。大学

生時代に開館セミナーに参加して以来、陰ながらセミナー・ハウスの発展を見守って参りました。  
長谷川瑞穂

◇ご発展をお祈りします。  
椿 弘次  
◇7、8月と文教研の合宿集会でお世話になります。

◇85歳になり、余りお役に立てず申し訳ありません。  
今堀和友

◇創立以来のC会員でしたのに、私の氏名が間違っって記載されましたので、これを機に辞めようと思いましたが、これを機に感謝して思い直しました。現在も帝  
京大学教授を続けています。  
古畑和孝

◇素晴らしい留学生会館の写真のカードを有難うございました。4月には内部を拝見します。よい施設が出来たと思っております。  
吉田幸弘

◇年賀状どうも有難うございました。  
村上 健

◇Eメールでの連絡方法も検討されてはどうでしょうか？  
松田安弘

◇益々の御発展をお祈り申し上げます。  
慶谷伸代

◇千人会費、お送り致します。ますますのご発展をお祈りしております。  
黒田道雄

◇誕生日お祝レター、有難うございました。お蔭様にて健康で7月5日を迎えられた事に感謝して千人会費をお送りさせて頂きました。セミナー・ハウスの益々の充実発展をお祈り申し上げます。  
三橋文雄  
◇カード、誠に有難く、嬉しく拝受致しま

した。セミナー・ハウス、ますますご発展で、心強く思います。  
厚東偉介

◇元気で誕生日を迎えることができました。大学セミナー・ハウスの益々のご発展をお祈り致します。  
松島 恵

◇新築された留学生会館の写真、嬉しく拝見致しました。  
山西 貞

◇このたび傘賀を迎え、C会費とさせて頂きたく存じます。セミナー・ハウスの御発展をお祈り致します。  
佐藤 進

◇不慮の病のため、半年間入院してました。  
窪田富男

◇不在にしておりましたので、遅くなり失礼致しました。益々の御活躍と御発展をお祈り致します。  
小川信子

◇国際交流のための根拠地をつくられて、セミナー・ハウスが益々多彩な活動をしていけることでしょう。誕生日を祝っていただいて、本当にありがとうございます。  
小池生夫

◇誕生日カード、有難うございました。元気で76歳を迎えました。これから暑い日が続きます。皆様の御健康をお祈り申し上げます。  
米村貞蔵

◇大学に移って五年目となりました。これまでの資料館や博物館での仕事の経験を活かして、大学ではじめてミニ展示「戦没兵士のビルマ便り」展をゼミ活動の一環として実施し、反響を得ました。  
新井勝紘  
◇何とか元気にしております。大学セミナー・ハウスの益々の御発展を祈っています。  
志賀 英

◇留学生会館の完成、おめでとうございます。  
松尾浩也

◇留学生会館の完成、嬉しいニュースでした。大学セミナー・ハウスの一層の発展を期待しております。  
栗原 裕

◇遅い遅い請求書の到着(8月22日)。財政が豊かになった証明です。こちらもゆつくりゆつくり送金申し上げます。  
山本武彦

◇大学セミナー・ハウスの益々の発展をお祈り申し上げます。  
徳田保雄

## 寄贈図書

(2005年1月～8月)

『敗者の勝利』『ベトナム現代短編集2』  
大同生命国際文化基金殿

『日大文芸賞1983～2004』  
日本大学新聞殿

『武蔵大学論集52・53巻』  
武蔵大学殿

『工学院大学研究報告98号』  
工学院大学図書館殿

『東京経済大学の100年』  
東京経済大学殿

『明治大学教養論集』  
明治大学殿



四季の植物誌セミナー  
 ～親子で学ぶ自然観察～  
 講師 福田 一郎



春へ見つけようよ、春の花！

4月10日午後1時～4時、第1回春の植物誌セミナーが、大学セミナー・ハウスの丘で開講されました。近隣の小学校のお子さんを中心に、お父さん、お母さん、祖父母の方、それに留学生のお姉さんもお加わって総勢40人が参加しました。当日は穏やかな日和で、本館前の枝垂桜は満開をむかえ、ツバキ、ユキヤナギ、レンギョウ、ツツジが咲きみだれていました。

最初は大学院セミナー館でスライドを見ながら、サクラ、アセビ、スマレ、タシボの話をし、またその見分け方、その植物をめぐる文化史を学びました。それから、ゆつくりキャンパスの丘を一巡し、花を摘んだり、観察して写真を撮ったり、また、ハウス職員の方より、炭焼きのお話を聞いたりしました。

その後、大学院セミナー館に戻り、皆でおやつを食べながら、グループ毎に作品を作って発表する時を持ちました。あのグループは母子合作で花のスケッチや、その名前からくるイメージの絵を発表したり、マツカサとクマザサ、それにヤブレガサで人形を作った作品を見せてくれた兄弟もいました。留学生のお姉さんか

らは、「日本の自然の豊かさ、その中には私の国の中国からやってきた（起源）ものもある事を知って嬉しく思っただ」という発表もありました。

最後に荻上館長が「みんな気楽にこの丘に来て下さい。そしていつか大学生になつて大いにここを利用して下さい。」と締め括られました。

大学セミナー・ハウスにこのような形でお子さん達を迎えるのは初めてのことであったが、とても楽しく、何か夢を感じさせる1日でありました。  
 （理学博士 東京女子大学名誉教授）



春・満開の枝垂桜

夏へ探検しようよ、夏の森！

第2回夏の植物誌セミナーは、8月7日に開講されました。太陽が照りつける暑い午後、手に手に虫かごや虫捕網を持った元気な子供達がセミナー・ハウスに集まりました。前回の参加者の他、アメリカからのお友達や、新潟から遊びにきたお友達、ご近所の飛入り参加の方、それに中山小学校校長先生と高嶺小学校副校長先生も参加して下さい、総勢70名でセミナーが始まりました。

最初は福田先生から樹木のお話を聞き、その後、本館食堂からキャンパスの森を見おろして、遠くの風景を眺めたり、また春とは違った森の景色の説明を受けました。キャンパス内には百日紅（サル

スベリ）の花が咲き、イチヨウの木にはもうギンナンがびっしりと実をつけていました。ブルーベリーの実は大分大きくなっていました。気温も高く、大人の方は樹木の観察、子供たちはカブトムシやクワガタを捕ったり、セミの幼虫が羽化するために地中から這い出た穴を見つけたりと、汗びっしょりでした。通称へ大浜岬で2グループが合流し、留学生会館を見下ろしながら、ハウス職員が用意した冷えたスイカをいただきました。

大学院セミナー館に戻ってからは、春と同様、おやつを食べながらの創作、発表をし、各グループの発表者に福田先生が優しいお言葉で作品評価をして下さいました。また、その日は旧暦の七夕なので、短冊を用意して願い事を書いてもらい、皆さんで笹に結び付けました。帰りには、ハウス職員が当日明け方に捕まえたカブトムシをおみやげにもらいとても嬉しそうでした。

今回は夏休みということもあって、お父さんやお祖父さんの参加も多く、親戚の方もいらっしやいました。次回の秋の会を楽しみに、みな満足して植物誌セミナーを終えました。  
 （文責、編集者）



四季の植物誌に参加して

感想文より

この辺りにこんな大きな自然があるとは知りませんでした。そして先生の話で日本の面積に対する森の広さは世界で2位で、日本がこんなに自然に恵まれているなんて驚きました。今、日本の自然はいろいろな問題をかかえています。ぼくたちがこの問題を解決しないといけないと思いました。

この森にはいろんな生き物がいて感動しました。虫の中でも特に印象に残っているのは木の上の方にいたノコギリクワガタです。あの強そうなアゴは独特の武器だと思いました。セミは5日から10日のはかない命ですが、一生懸命になきメスと交尾して死ぬ。ぼくはそこに感動しました。

先生がいったように、自然を観察するというのはすごく大切だと思います。自然とふれあうことでほかの生物の生態がわかるということだと思えます。次の秋のセミナー・ハウスではもっと植物のことを知りたいです。

（小学校5年男子）



夏・短冊に願いを込めて



国際炭やき交流会 (第1回)  
炭やきは地球を救う!

2005年6月11日(土) ~ 12日(日)

★講演と炭やき体験教室

財団法人大学セミナーハウスは開館40周年にあたる本年4月に留学生会館をオープンしました。その機会を捉えて、留学生との新規の交流イベント「国際炭やき交流会」を6月に開催、講師6名、留学生25名、日本人学生6名、社会人44名、スタッフ15名の総計96名が集いました。

実施に当たっては次の諸団体のご協力をいただきました。

共催：エコ・ネットワーク八王子

後援：財団法人 国際文化交流協会

国際炭やき協力会、多摩炭やきの会、

八王子市民活動協議会、八王子学芸、

八王子国際交流団体連絡会

東南部環境市民会議

☆講演

① 硫黄酸化物による樹木の立ち枯れ

—炭による酸性土壌の中和とCO<sub>2</sub>の削減—  
元東邦大学理学部教授(理学博士)

大森慎子

今年度は京都議定書の発効年に当り、地球温暖化の防止は世界各国の共通の課題であり、炭やきが地球温暖化の防止対策に最適なことの一つであることのメカニズム解析と実証

② 炭やきは地球を救う

—農林水産業と環境と海外に活かす炭焼き—

国際炭やき協力会会長・炭やきの会副会長

杉浦銀治

農林業、環境へ活かす炭やきの有用性の内外実施例

③ 検証「炭やきは地球を救う」活動の15年

から成功と失敗、そして展望へ

国際炭やき協力会事務局長 広若剛士

世界の炭やき事情と日本の炭やき技術の普及のための海外支援の状況

☆炭やき体験

ドラマ缶窯、伏せ焼き窯での竹炭及び雑木炭、などの製炭を実習。尚、白炭窯での製炭のデモンストレーション

☆アトラクション

キャンプファイヤーを囲んで歌の競演。燻製のおつまみ、数々の炭火焼き料理の昼食。松かさ、折り紙などのお花炭作りの体験。

★感想より(一部抜粋)

☆日本人学生

・とても楽しかった。炭焼きの奥の深さを垣間見ることができたのではないかと思います。炭が完成した時の喜びは何とも言えないものがありました。多くの人で1つのことをやるのも楽しいし、いい経験になったと思います。

・炭焼き体験も講演会も本当に楽しく参加させて頂きました。もつと日本人学生は参加しなけりやいけないなという思いもあり、できるなら自分のまわりに声をかけつつ、これからも炭焼きをしていきたいと思っています。先生方の講演を大学でやって頂けたら炭焼きに興味を持つ学生が増えるのではないのでしょうか。現状として「炭焼き」の実感がない学生がほとんどだと思います。炭焼きの本質を伝えたいのでPRの必要があるのではないのでしょうか。

☆留学生

・炭焼きを通して日本人の大自然を愛する気持ちを実感しました。地球保全に対する役割も理解しました。とても有意義なことです。多くの人が参加してもらいたい。

・日本風のバーベキューも本当においしかったです。炭がこれほど環境にいいとは思わなかった。炭がこれほど環境にいいとは思わなかった。炭がこれほど環境にいいとは思わなかった。炭がこれほど環境にいいとは思わなかった。

ったです。炭がこれほど環境にいいとは思わなかった。炭がこれほど環境にいいとは思わなかった。炭がこれほど環境にいいとは思わなかった。炭がこれほど環境にいいとは思わなかった。

☆一般

・「炭やきは地球を救う」というタイトルでしたが、最初は、炭やきは煙を出すことや森林伐採というイメージでタイトルに違和感を抱いていました。諸先生方の話を聴いて多分に自分の誤解もあつたことを反省しています。世の中、誤解されている方も大勢いると思いますので、そうではないこととのPRや広報が必要であろうと思います。先生方はじめ活動を支えていただいたエコ・ネットワーク八王子の皆様には感謝しています。

★今後期待することより(一部抜粋)

☆日本人学生

・第1回に続き2回目、3回目と今後長期にわたり続けて欲しいと思います。今後はもつと日本人学生の参加を増やし、交流会でも他国に負けない盛り上がりができる方がいいなと思いました。

☆留学生

・こういう日本人と外国人との接触するチャンスが増えれば、お互いの理解も深めることもできます。

☆一般

・竹酢の蒸留の実習を入れて欲しい。家庭での利用法の説明をもう少し多く入れてください。

・「炭焼き」がこんなに奥深いものとは知りませんでした。もつと多くの人に体験して頂くことが大切なのではないかと思いました。



個人のレベルで、豊かな文化の一つとして後世に伝え残して行きたいと思いました。

第12回大学職員セミナー  
競争時代を支える大学の  
人材養成を考える

2005年7月1日(金)～2日(土)  
企画委員 高橋 真義



今回の大学職員セミナーは「競争時代を支える大学の人材養成を考える」というテーマを取り上げました。

今日、時代はめまぐるしく変わり始めています。厳しい競争に取り残されまいと必死に頑張つて疲労困憊の大学関係者がいる一方で、相変わらず「ウチが潰れるはずはない」という超楽観的の大学関係者も少なくありません。

もはや、この厳しい時代は対症療法や楽観論を積み上げても、またその場に立ち止まっても乗り切れるものではないかもしれません。だからこそ、安易に人材を外部に求めたり、アウトソーシングに走ることなく、変化に柔軟に対応できる勇気と深い識見を持った内部人材を養成する地道な努力を忘れたくはありません。

国公立の垣根を越えた参加者は、基調講演、2回の自己表現・評価トレーニング、分科会という異なる「場」で、大学経営を支える人材養成はいかにあるべきかを考えました。

基調講演のトップは「大学経営の企画力」と題して、東京大学大学院教育学研究科矢野真和教授が、これからの大学経営には、新しい問題を発見し裁量の中で企画力を発揮する裁量的官僚モデル、新しい資源の需要に対しての資源配分を提案する専門家経営モデルが必要である。政策の流れを理解し、自大学のポジショニングの方向性をプロデュースする、組織のプロも求められると、極めて示唆に富む問題提起をされました。

続いて、大谷大学教育研究支援部事務部長の滝川義弘さんには「ミッション・パッション・アクションが人を育てる」というテーマで、私立大学という「場」でのご自身の体感に基づく「人材育成」の原理原則を紹介いただきました。

(有)人財ラボ代表取締役の下山博志さんには「企業社会でみてきたモチベーション」というテーマで、マクドナルドでの人材養成のカタチをベースに、最新の人財マネジメントについてお話しいただきました。

夕食後、基調講演の内容をベースに、7つのチームに分かれた参加者一人一人の大学経営についての問題意識を確認する自己表現・評価トレーニングに入りました。テーマは「大学の人材養成」です。ファシリテーターは高橋が務めました。この後、会場を交友館に移して、恒例のヒューマン・ネットワーク懇親会は深夜まで続きました。

翌朝は、教育・研究・社会貢献という大学のミッションごとの分科会で人

材養成についての問題点を深化しました。第2回目の自己表現・評価トレーニングでは、全員が分科会の報告者になりました。最後に、7つのチームのメンバーとチームカラーを紹介しました。東ねられた元気元気を大学に持ち帰ることを全員で確認しました。お陰さまで、ハードでしたが充実したプログラムとなりました。

(桜美林大学大学院教授)



分科会



自己表現・評価トレーニング

## 平成17年度主催セミナー開催案内

セミナー名	日 程	テーマ
自然セミナー	05/4/10(日)	四季の植物誌 ～親子で学ぶ自然観察～ 春：見つけようよ、春の花
自然セミナー	05/6/11(土)～12(日)	炭やきは地球を救う！ ～国際炭やき交流会(第1回)～
大学職員セミナー (第12回)	05/7/1(金)～2(土)	競争時代を支える大学の人材養成を考える
自然セミナー	05/8/7(日)	四季の植物誌 ～親子で学ぶ自然観察～ 夏：探検しようよ、夏の森！
大学教員セミナー (第43回)	05/9/3(土)～4(日)	外国語教育のゆくえ ～グローバル社会の中での大学教育を考える～
大学職員セミナー (第13回)	05/10/21(金)～22(土)	大学経営を活かす財務感覚
公開セミナー (第2回)	05/11/12(土)～13(日)	万葉・古今が語る日本の古代 ～古田武彦先生を囲んで～
自然セミナー	05/11/27(日)	四季の植物誌 ～親子で学ぶ自然観察～ 秋：落ち葉と遊ぼう！
国際学生セミナー (第32回)	05/12/10(土)～11(日) (予定)	未定
自然セミナー	06/2/5(日)	四季の植物誌 ～親子で学ぶ自然観察～ 冬：春を探そう！
大学職員セミナー (第14回)	06/1/20(金)～21(土)	大学経営を活かす企画力
大学共同セミナー (第190回)	未定	未定
大学教員セミナー (第44回)	06/3/19(日)～20(月)	未定

### 速報

#### 第43回大学教員セミナー開催

今年度最初の大学教員セミナー「語学教育のあり方～グローバル社会の中での大学教育を考える～」が9月3日～4日に開催されました。全国から63機関79名の教員の方々が「出会いの丘」に集い、講演や分科会では熱心に議論や意見を交わしました。今回は講師に、大星公二(株)NTTドコモシニアアドバイザー、竹前文夫・目白大学外国語学部教授、尾鼻靖子・信州大学高等教育システムセンター教授、内田勝一・早稲田大学国際教養学部教授、笹田 巖・東京学芸大学附属高等学校英語科教諭をお招きしました。



分科会



館長挨拶



特別講演 大星公二氏



# 平成16年度 宿泊業務白書

■年間の宿泊利用者数26、386人、平成16年度の宿泊利用者数は延べ26、386（月平均2、199）人（表1）で、前年度に比べ、756人の減少である。

## 利用者種別利用状況

■利用者の利用は12、082人で、全体の45・8%を占めているが年々減少の傾向にある。今年度は4月の新入生オリエンテーションの利用が少く、昨年同月より1354名減少し、この影響で上半期の利用が例年になく低調であった。これは今までにない特色である。しかし年間で見ると10年間続いているマレーシア留学生の42泊の利用があったため昨年より756名の減少にとどまった。

■なお、参考までに、本年度利用の特に多い会員校上位校をあげると表2のとおりである。グループ数・宿泊延人数とも毎年中央大学が1位で夏期スクーリング生その他にゼミ合宿・サークルの利用者が大きな割合を占めている。今年度は早稲田大学がグループ数・宿泊延人数共2位になった。

■社会人団体の利用を促進するため、料金体系を2年前変更したが

昨年より大きな伸びはなかった。今後も社会人のご利用に期待したい。

●宿泊施設の年間稼働率は25%  
本年度の当ハウスの稼働日数は、年末年始の休館8泊、6月の

施設整備期間4泊分を差し引いた353日で、宿舎（収容定員300人）の年間稼働率は25%であった。創立40周年を迎えたユニットハウスの稼働率は18%で毎年減少傾向をたどっている。

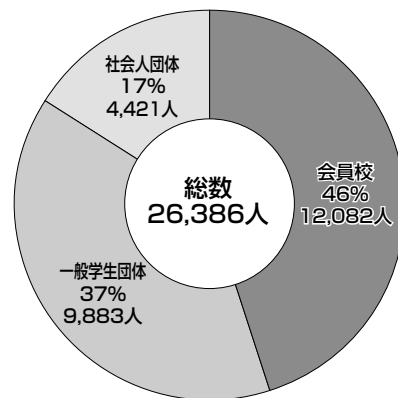
表1 利用者別状況表 ( ) 内は前年度

利用グループ	グループ数	比率 (%)	宿泊実人数	比率 (%)	宿泊延人数	比率 (%)	1団体平均人数
会員校	314 (310)	50 (49)	8,083 (8,003)	50 (49)	12,082 (12,313)	46 (45)	26 (26)
一般学生団体	161 (169)	26 (27)	4,818 (5,276)	30 (32)	9,883 (10,436)	37 (39)	30 (31)
社会人団体	149 (150)	24 (24)	3,145 (3,171)	20 (19)	4,421 (4,393)	17 (16)	21 (21)
合計	624 (629)	100	16,046 (16,450)	100	26,386 (27,142)	100	25 (22)

表2 16年度協力会員校最多利用上位校

大学名	グループ数	大学名	宿泊延人数
中央大学	38	中央大学	2,076
早稲田大学	28	早稲田大学	1,004
青山学院大学	24	青山学院大学	796
日本大学	20	東京都立大学	634
東京都立大学	18	日本大学	597
東京学芸大学	17	白梅学園短期大学(準)	528
法政大学	13	明星大学	519
東京大学	10	東京学芸大学	451
慶應義塾大学	8	お茶の水女子大学	397
千葉大学	8	東京大学	357
一橋大学	8		
明星大学	7		

図1 利用グループ構成比



# ご利用状況

2005年1月～8月

\* Ⅱ 同月2回利用  
\* \* Ⅲ 同月3回利用  
日帰りはグループ数のみ  
(延べ人数には日帰りの利用者は含まず)  
◇ Ⅱ 新入生オリエンテーション

- 1月(22グループ、延748人)  
電気通信大学国際交流推進センター  
日本大学遠藤グループ  
国際基督教大学古学研究会  
中央大学教授 黒田 巖  
電気通信大学教授 坂本和義  
東京都立大学地盤工学講座 平野 健  
中央大学助教授 駒澤 大  
駒澤大学助教授 瀬戸岡 紘  
クレスト研究会  
Field Assistant Network  
第11回大学職員セミナー  
東京薬科大学新歓祭実行委員会  
創価大学教授 長谷部 秀孝  
授業研究会の会 心の森\*  
いやしへのや  
(株)チャンピオン美容室  
東京都生活協同組合役員室  
カルバリ・チャペル  
〈日帰り利用〉  
YMCA  
フレイバー  
ニューシネマワークシヨップ  
■2月(46グループ、延2097人)  
慶應義塾大学教授 鈴木 透  
中央大学田中拓男ゼミ 白井 邦彦  
青山学院大学助教授 平塚 真樹  
法政大学教授 寺東 寛治  
中央大学アナウンス研究会 栖原 学  
青山学院大学教授 寺東 寛治  
日本大学教授 西海 真樹  
中央大学教授 明星 大  
武蔵工業大学学生団体連合会 明治 大  
帝京大学雄弁会 千葉 大  
早稲田大学弁論会 小谷 敏  
大妻女子大学助教授 小谷 敏

- お茶の水女子大学文教育学部地理学コース  
千葉大学教授 武蔵 武彦  
東洋大学教授 森田 明  
早稲田大学教授 吉野 孝  
早稲田大学講師 中村 千秋  
東京大学関谷グループ  
中央大学将棋同好会  
アイセック慶應義塾大学委員会  
東京工科大学吹奏楽団  
東京都立大学唯物論研究会  
早稲田大学教授 喜多明人  
早稲田大学助教授 高橋 世織  
東京学芸大学教授 金谷 憲  
桜美林大学教授 高橋 真義  
明治学院大学白金スポーツ連合会  
第42回大学教員セミナー  
尚志大学大学院社会福祉専攻学生  
東海大学弁論部  
朝鮮大学校経営学部2年生  
聖学院大学八王子合宿  
学校法人立志舎  
国立音楽大学イリス合唱団  
アジア科学教育経済発展機構  
エコ・ネットワーク八王子・炭焼  
きプロジェクト  
日輪グループ\*  
万国デフ・パブテスト福音伝道協会  
ニューシネマワークシヨップ  
心の森  
東プレ(株)  
ボーイスカウト南多摩地区  
(社)日本POP広告協会  
モニター研究所セミナー  
〈個人利用〉  
水野 亮  
水野 亮  
〈日帰り利用〉  
「我が国の高等教育の将来像」セミナー  
■3月(60グループ、延4139人)  
明星大学通信教育部 源川 真希  
東京都立大学助教授 野沢 敏治  
明治大学クリニック 野沢 敏治  
千葉大学教授 野沢 敏治  
武蔵工業大学EcoWorks

- 中央大学総合政策学部 寺田 実  
電気通信大学助教授 寺田 実  
千葉大学炭焼きの会  
東京経済大学文化会本部  
東京理科大学教授 狩野 紀昭  
早稲田大学劇団コンツェルト 谷敷 正光  
駒澤大学教授 清水 安夫  
早稲田大学SF研究会  
慶應義塾大学混声合唱団  
桜美林大学講師 清水 安夫  
日本大学B.D.C演劇映画放送研究会  
法政大学助教授 池田 宏一郎  
青山学院大学教授 平澤 典男  
ICU祭実行委員会 工藤 秀明  
千葉大学教授 鈴木 康弘  
日本大学教授 水谷 史男  
明治学院大学教授 水谷 史男  
青山学院大学応援団  
慶應義塾大学小熊ゼミ  
明星大学教授 光成 豊明  
中央大学教授 関口 定一  
青山学院大学教授 高木 誠一郎  
中央大学太極拳同好会  
中央大学講師 武石 智香子  
東京学芸大学教授 山田 有策  
NPO前夜  
共立女子大学教授 生井 英考  
創価女子短期大学イタリア研究会  
フッサル研究会  
郡内研究会  
東京神学大学説教塾セミナー  
模範国連委員会国立研究会  
東京薬科大学生協  
東京工科大学専門職職員研修  
東京学芸大学附属高等学校48期3D  
東京薬科大学新歓祭実行委員会  
哲学研究会  
多摩美術大学学生課  
文学教育研究者集団  
森村学園高等部生徒会  
晃華学園英語部同窓会  
現代と経済  
アジア科学教育経済発展機構  
健通技研(株)

- 合唱団せせらぎ  
(株)スリーボンド  
心の森  
混声合唱うたの森  
〈個人利用〉  
高知大学 藤塚 吉浩  
純心女子大学 中川 多鶴  
〈日帰り利用〉  
八王子リトルリーグ  
東京薬科大学新歓祭実行委員会  
相原竹の子学童保育クラブ  
高嶺小学校卒業を祝う会  
エー・アイ・アイ(株)  
■4月(48グループ、延2827人)  
電気通信大学助教授 阿部 公輝  
横浜国立大学助教授 小川 慎一  
青山学院大学教授 中澤 進一  
◇中央大学独文学専攻  
◇中央大学心理学研究  
東京都立大学人文学部教育学科新2年生ガイダンス 福岡 安則  
埼玉大学教授 森 久  
明治大学教授  
◇東京学芸大学工学部  
◇東京学芸大学家庭科  
◇東京学芸大学文学部  
◇東京都立大学人文学部史学科  
◇東京学芸大学社会科学科教室  
◇東京学芸大学学習社会文化専攻  
◇お茶の水女子大学理学部生活科学部  
◇首都大学東京理学部物理学コース  
◇首都大学東京機械工学コース  
◇東京経済大学21世紀教養プログラム  
◇日本大学ケンブリッジ大学サマー  
◇スクール事前研修  
◇東洋大学社会文化システム学科  
◇レッシュヤーズ・キャンパス  
◇中央大学文学部教育学研究  
◇明星大学助教授 山井 理恵  
法政大学教授 上林 千恵子  
東京大学国際環境協力コース  
中央大学社会科学セミナー

- 一橋大学教授 神武 庸一郎  
岩手大学オリエンタリング  
佼成学園高等学校  
学校法人河合塾国際教育事業部  
◇東京工科大学  
◇東京コンピュータ専門学校  
◇都留文科大学教授 河村 茂雄  
◇駒澤女子大学基礎ゼミ  
上尾西リトルリーグ  
杏林大学教授 熊谷 文枝  
関西創価高等学校  
バレエボール同好会  
授業研究会の会  
東プレ(株)  
神奈川経済問題研究会  
自費出版ネットワーク  
エコ・ネットワーク八王子炭焼き  
プロジェクト  
(株)スリーボンド  
日本シヨーパーンハウアー協会  
RSCDS東海ブランチ  
心の森  
〈日帰り利用〉  
「四季の植物誌」親子で学ぶ自然観察」  
(株)日本ガリネット  
■5月(46グループ、延3113人)  
青山学院大学新聞編集委員会  
◇法政大学エクステンションカレッジ  
アイセック東京大学委員会内プロジェクト  
中央大学白門会  
芝浦工業大学電子計算機研究会  
学習院大学シエイクスピアドラマ  
ソサエティ  
◇東京都立大学自主ゼミサークル  
◇東京農工大学化学システム工学  
科  
◇東京農工大学有機材料化学科  
◇桜美林大学講師 田村 考司  
◇創価大学ロシア語専攻  
中央大学学芸連盟ポピュラーソング研究会  
慶應義塾人事部

筑波大学講師 貝島桃代  
 ◇東京農工大学環境資源科学科  
 ◇東京学芸大学幼稚園科  
 武蔵工業大学工学部教職課程  
 早稲田大学教授 河西宏祐  
 中央大学辞達学会  
 東京学芸大学人間福祉課程総合社  
 会システム生活福祉分野  
 明治大学教授 栗原 彬  
 帝京大学助教授 郷 健治  
 ◇白梅学園短期大学保育科  
 明星大学講師 渡邊幸夫  
 青山学院大学教授 富山 健  
 ◇青山学院大学物理数理学科  
 ◇東京学芸大学表現コミュニケーション専攻  
 立教大学教授 郭 洋春  
 ◇東京学芸大学学校教育  
 中央大学商法研究会  
 ◇東京学芸大学日本語教育教室  
 マレーシア留学生  
 アシードジャパンエコ就職ナビ  
 ◇国士館大学文学部地理学教室  
 スポーツチャンバラ三鷹やまこく  
 ラブ  
 万国デフ・バプテスト福音伝道協  
 会  
 日本ハリストス正教会教団  
 日輪グループ\*  
 エコ・ネットワーク八王子・炭焼  
 きプロジェクト  
 心の森  
 日本分光(株)  
 大東建託(株)  
 フェイスフィルハーモニー管弦楽  
 団  
 〈個人利用〉  
 東京都立国分寺高等学校  
 〈日帰り利用〉  
 ニューシネマワークショップ  
 自然住宅を考える会  
 ■6月(31グループ、延1472人)  
 東京学芸大学助教授 腰越 滋  
 青山学院大学教授 稲積宏誠  
 桜美林大学教授 牧田東一

中央大学国際関係研究会  
 中央大学教授 村田雄二郎  
 立教大学教授松田宏一郎・教授吉岡  
 知哉・助手浪岡新太郎合同ゼミ  
 中央大学教授 横湯園子  
 法政大学教授 陣内秀信  
 東京学芸大学日本研究  
 千葉大学建築会  
 早稲田大学・ペンシルベニア大学  
 合同  
 慶應義塾大学SFC模擬国連  
 一橋大学教授 藤田和也  
 東京学芸大学書芸研究会  
 国際炭焼き交流会  
 ESR入門セミナー  
 第6回「世界とアメリカ」セミナー  
 日本女子大学附属高等学校  
 第33期十大学合同セミナー  
 (株)マイコーブエクスプレス  
 第26回日豪合同セミナー  
 六友会(株)  
 大東建託(株)  
 トヨタホーム東京(株)  
 富士重工(株)  
 心の森  
 中央大学細野ゼミ  
 〈個人利用〉  
 クオリティマネジメント  
 明星大学通信教育部  
 〈日帰り利用〉  
 フレーパー  
 大和ハウス工業(株)  
 ■7月(51グループ、延1786人)  
 首都大学東京教授 森 泰親  
 早稲田大学社会学部  
 横浜国立大学助教授 藤本康孝  
 国際基督教大学(先)クラブ 仁科貞文  
 青山学院大学教授 大森元吉  
 立教大学講師 村上 健  
 津田塾大学教授 狩野 均  
 筑波大学助教授 藤田和也  
 一橋大学教授 渡邊啓貴  
 東京外国語大学教授 藤田和也  
 東京学芸大学英語科 渡邊啓貴  
 日本大学歯学部剣道部

東京都立大学教育学科 佐藤公彦\*  
 東京外国語大学教授 鬼頭 宏  
 上智大学教授 滝田賢治  
 中央大学教授 滝田賢治  
 早稲田大学ゼンテナスクラブ  
 東京大学環境三四郎  
 東京理科大学大澤ゼミ  
 明星大学通信教育部  
 第12回大学職員セミナー  
 大阪市立大学  
 十大学合同セミナー  
 塩グルーブ  
 東京都立八王子工業高等学校定時  
 制生徒会  
 千葉医療福祉専門学校  
 ガイヒーリージャパン  
 神奈川大学教授 島 健  
 現代経営学研究会  
 国立音楽大学音楽遊び研究会むっ  
 く  
 東京都立南多摩高等学校  
 NPO前夜  
 拓殖大学教授 新田目夏実  
 日本女子体育大学附属二階堂高等  
 学校  
 東京都立成瀬高等学校茶道部  
 哲学若手研究者フォーラム  
 日本総合研究所  
 混声合唱コールクライス  
 ベストグループ\*  
 大東建託(株)\*  
 積水ハウス(株)  
 (株)環  
 万国ローア・バプテスト福音伝道  
 協会  
 高橋聖書集會ヨシユア会  
 カウンセリング研究会  
 心の森  
 文学教育研究者集団  
 (株)日本語教育学会  
 〈個人利用〉  
 クオリティマネジメント  
 高知工科大学教授 伴 美喜子  
 早稲田大学教授 豊田秀樹  
 ■8月(83グループ、延4484人)

東京大学講師 川人 博  
 法政大学助教授 岩崎晋也  
 中央大学学生相談室  
 武蔵工業大学グリーンクラブ  
 早稲田大学教授 大村敬一  
 明星大学助教授 深沢 清\*  
 東京大学助教授 藤島 実  
 中央大学菅原ゼミ  
 東京工業大学コールクライネス  
 中央大学会計研究会  
 早稲田大学劇団コンツェルト  
 学習院大学講師 森 良  
 明治大学教授 大胡 修  
 東京大学教授 武市正人  
 一橋大学教授 水岡不二雄  
 お茶の水女子大学ミュージカルカ  
 ンパニイMMG  
 明治学院大学社会学部学内学会  
 立教大学教授 佐々木一也  
 女子美術大学付属高等学校中學校  
 一橋大学アイセック  
 イアエスア  
 明星大学通信教育部  
 青山学院大学教授 狩野良規  
 中央大学通信教育部 郭 洋春  
 立教大学教授 郭 洋春  
 東京大学DESK 袴田茂樹  
 青山学院大教授 尾畑 裕  
 桜美林大学経済学会 安藤寿康  
 慶應義塾大学教育会本部  
 千葉商科大学体育会本部  
 中央大学法律勉強会  
 東京学芸大学・横浜国立大学・埼  
 玉大学合同カウンセリングゼミナ  
 ー  
 青山学院大学教授 今井重孝\*  
 埼玉大学教授 福岡安則  
 法政大学講師 山下大厚  
 青山学院大学ハンドベルクワイア  
 早稲田大学雄弁会  
 津田塾大学英語会  
 東洋大学吉川ゼミ 並河 一道  
 東京学芸大学教授 並河 一道  
 青山学院大学新聞サークル  
 東京学芸大学大学院英語教育

スタディーキャンプ  
 明海大学教授 投野由紀夫  
 数論セミナー  
 佼成学園高等学校  
 日本混相流学会学生会  
 先進材料の高温強度と組織研究会  
 拓殖大学教授 鈴木祐二  
 共立女子大学教授 見田宗介  
 学習サークルたんぼぼ  
 第27回国際学生シンポジウム  
 NPO法人樹木・環境ネットワー  
 ク協会  
 東京神学大学公開夜間神学講座  
 聖学院大学聖歌隊  
 町田リトルシニア  
 在日マレーシア留学生  
 打越中学校ソフトテニス部有志  
 明神フェニックスFC  
 NPO法人 ライツ  
 現代と経済  
 秀明大学助教授 山口桂子  
 文学教育研究者集団  
 幼稚園委員会  
 (株)ノジマ  
 AITC  
 AFS43期  
 心の森  
 (社)国際商事法研究所  
 調布「憲法ひろば」  
 大久保集會  
 八王子カルチャーセンター  
 阿佐ヶ谷教会共励会  
 青梅市教育委員会初任者宿泊研修会  
 日輪グループ  
 女性福祉ネット夏合宿  
 市川カトリック教会  
 町田クリスチャンセンター  
 〈個人利用〉  
 東洋大学スクーリング生  
 〈日帰り利用〉  
 「四季の植物誌」親子で学ぶ自然観察」  
 (株)そごう八王子店  
 茶道と古楽器を楽しむ会



## セミナー・ハウスでの 合宿研修

矢幅 裕麻

大東建託㈱ 福岡支店

私は、大学セミナー・ハウスで3週間の合宿研修をしました。この3週間の思い起こしてみると、大学セミナー・ハウスの具体的な2つの魅力に気付きました。まず1つ目は、周囲に自然がたくさんあることです。この多くの自然のおかげで気持ちやすつきりとし、自分の中にあつたわだかまりやストレスを解消する事ができました。それにより、今までの自分を改めて見つめ直す余裕ができ、頭の中が整理されました。2つ目の魅力は、多くの同期との共同生活です。この共同生活では、自分のことだけを考えるのではなく、周りの同期のモチベーションを見極め、自身のみならず全体を向上させていくことを学びました。生活を共にし毎日一緒にいるからこそ、相乗効果をはかることができ、私も全開にやる気・熱意・モチベーションを高めることができました。それにより、仕事の効率と精度も上がりました。これらが私が思う、大学セミナー・

ハウスの魅力です。この2つの魅力により、私の短所が長所へと変わりました。それは、時間を厳守することです。私は、社会人としての最低限のマナーである時間厳守を守れず、この合宿研修の初日に遅刻をしました。その原因は、規則性を持たない私生活により起こった寝坊です。また1日1日の生活に、メリハリもありませんでした。しかし、ここでの合宿研修に入ってから、頭を整理し自分を開放できたために健康的に過ごせ、またモチベーションも高まりました。純粋に仕事に専念することができました。初日以降は、遅刻をするような私が5分前・10分前には待機し、仕事への姿勢を整えるようになりました。私の仕事に対する熱い気持ちに火を灯してくれたのは、大学セミナー・ハウスでの合宿研修です。この合宿研修で学んだことを糧とし、身に付けたことを土台として、今後の仕事につなげていきます。



毎年ご利用いただいている大東建託の皆様 (2005.5.11~28)

## 次回開催セミナーご案内

### ★第13回大学職員セミナー「大学経営を活かす財務感覚」

日程： 2005年10月21日（金）～22日（土）  
 特別講演： 「大学財務健全化と教職員意識改革」 藤田幸男（芝浦工業大学理事長）  
 基調講演： 「格付評価から見る大学財務」 下山直人（格付投資情報センターシニアアナリスト）  
 「監査法人の見た大学財務」 山中 崇（中央青山監査法人公会計部）

### ★公開セミナー「万葉・古今が語る日本の古代」～古田武彦先生を囲んで～

日程： 2005年11月12日（土）～13日（日）  
 講師： 古田武彦（歴史家・元昭和薬科大学教授）

詳しくはホームページをご覧ください。  
 ☆セミナーに関するお問合せ：企画広報課

<http://www.seminarhouse.or.jp>  
 TEL:0426-76-8532 FAX:0426-76-1220  
 E-Mail:kikaku-koho@seminarhouse.or.jp

## 開館40周年記念募金第8回報告

◇募金総額三七、二六八、三八一円  
 （2005年6月25日現在）

千人会員、利用者、主催セミナーの講師の皆様、企業及び各種団体から多大なご寄付を頂きありがとうございます。平成17年6月末日をもって募金活動を終了させて頂きました。ここに感謝を込めて、本紙168号掲載以降の申込者のご芳名を掲載させて頂きます。また、本紙掲載の他に数件の募金申込みがあります。

### ◇募金申込者ご芳名（入金順）

（2005年3月1日～6月25日）

一五、〇〇〇円	前島郁雄殿	一〇、〇〇〇円	吉田 豊殿
一〇、〇〇〇円	おさひめ幼稚園殿	一〇、〇〇〇円	山本眞一殿
一五〇、〇〇〇円	有限会社三協空調サービス殿	一〇、〇〇〇円	明治大学殿
五〇、〇〇〇円	株式会社エフ・デー建築研究所殿	一〇、〇〇〇円	相澤益男殿
三〇、〇〇〇円	今井哲哉殿	一〇、〇〇〇円	村上光一殿
一〇〇、〇〇〇円	後藤祥子殿	一〇、〇〇〇円	国立大学法人東京学芸大学殿
一〇〇、〇〇〇円	匿名 殿	一〇、〇〇〇円	佐木 豪殿
二〇〇、〇〇〇円	武田昌輔殿	三〇、〇〇〇円	小林一彦殿
一〇〇、〇〇〇円	今井 栄殿	五〇、〇〇〇円	学校法人東洋大学殿
一〇〇、〇〇〇円	二井隆義殿	一〇、〇〇〇円	学校法人日本大学殿
二〇、〇〇〇円	漆原和子殿	三〇、〇〇〇円	佐々木 毅殿
一〇〇、〇〇〇円	宇佐美 滋殿	一〇、〇〇〇円	楠川絢一殿
五〇、〇〇〇円	池端雪浦殿	五〇、〇〇〇円	河田喬夫殿
一〇〇、〇〇〇円	杉山武彦殿	一〇〇、〇〇〇円	富士ゼロックス株式会社殿
一〇〇、〇〇〇円	宮田清蔵殿	一〇〇、〇〇〇円	株式会社大宅映子事務所殿
一〇、〇〇〇円	外池孝雄殿	一〇〇、〇〇〇円	伴 美喜子殿
一〇、〇〇〇円	川原栄峰殿	二〇〇、〇〇〇円	株式会社フジテレビジョン殿
一〇、〇〇〇円	藤ビルメンテナンス株式会社殿	二〇〇、〇〇〇円	東京電力株式会社殿
一〇、〇〇〇円	相磯秀夫殿	二〇〇、〇〇〇円	有限会社加藤企画殿
五〇、〇〇〇円	西原 正殿	一一、九二八円	募金箱寄付金殿
二〇〇、〇〇〇円	河原食品株式会社殿	五〇、〇〇〇円	株式会社秀幸殿
一〇〇、〇〇〇円	株式会社オートマテックサービス殿	以上	

## 館長室から

大学セミナーハウスは豊かな四季に恵まれている。

春は曙に様々な花を愛で、夏は夜にセミが羽化するところを観察することが出来、秋は夕暮れに酒を暖め紅葉を焼き、冬はつとめて霜柱を踏みしめて散歩を楽しむことが出来る。

この豊かな自然を近隣の小学生達に楽しんでもらうことによって「理科離れ」を未然に防止しようと考え、東京女子大学名誉教授で植物学者の福田一郎博士にお願いして「四季の植物誌」親子で学ぶ自然観察セミナー」を企画した。「春の季節」は四月十日に開催して様々な花を愛でもらうことが出来た。

「夏の季節」は八月七日に開催して、マツ、スギ、ヒノキ、サワラ、ネムノキなどを観察した。アメリカから参加した小学生や中国人留学生も加わり、総勢七十名を超える大セミナーになった。マツは葉が二本のもの、三本のもの、五本のものと同様な種類があったが、福田先生は「日本のマツは葉が二本です」と見事に締めくくられた。

炎天の屋外で観察した後、涼しい室内で感想を発表してもらい、様々な願い事を短冊に書いて笹竹に吊し、月遅れの七夕を祝った。七夕は五節句の一つで、中国にその源を求めることが出来、「古事記」「日本書紀」に登場する由緒ある祭である。

### 七夕の笹に重たき願ひ事

（荻上紘一）